0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/0/

師陛下の

親臨を仰ぎ奉り

か<br />
上<br />
嚴<br />
に<br />
舉<br />
行<br />
さる

東北大學騷擾

開闢を領じた末葉に死者

安藤幹事長を

低力等全職館の重要案例につ

認該を重ねて同十時半群去した

(152)

白川 圖書課長 日發國境へ

鑑と打ち下した一太刀は、見事に 逃げようとした部位の背後から

都致の掘で、くつと加刀をひと拭戻けざまに麻筌を摑んで倒れた した駁は、小気味よささらにに ちなんぞに、かげるよの題節がるといって、かけるよの題節があるといって、かけるよの題節がある。 第一こんな古 助けに來てくれたんぢやないんだ 『そんなら生衣、お削、あたしを

能光深く斬り下げた。

ろしの一件から、すつかり危い設されやア魍町の岩木拼景の土骸ご 戸を照らにやアならねえ身の上な 一助けだつて。 面目ねえが、 今夜にも江

たなんか、これが分相應の街生闘 「ふん、生臭坊主め。 どうせてめ

の間に起き上つたか、桑の煙草盆 | この寺なんだが、姐舅の思ろな利 を秘元へ引き寄せた女が、長福津一向とも知らず、つひ手が滑つてば と思つたのが

はず駅はきつと振り向くと、いつ | 仕事、 稼いで行から んと吐月峰を叩く音が聞えた。 と吐月峰を叩く音が明えた。思しかもその途端に異然背後で圧

**収締役)新住接拶の為八日來社郷役社長)▲金仁妓氏(開學務等基礎氏(鮮興商工株式會駐取** 

天地文黄

いでなし。波瀾は琵琶の前のと 語がさら男々と通るわけのも 今議館は難航とある。非常時

点 呼子 鳥 遍

れよりか議院本来の使命語は 国民はその波瀾を恋とせず。

自由主義は駆動に缺く能はず で

際登り入する

後任は早川

廣島縣知 の類似であっ、なは四月以降

それが自由主義なら、少

と、パンフレットと、講演と

との第一に運動手、第二に小馬

既におなりだれる。 る。生式、おまへもなか~~いゝ

なんだと あり、おめへは

かげろふお新の顔を見忘れるだア

るく、從つてお答糊への観 することに努力してゐます

だ。こいつア大稲いや一郎もおえ。こいつア大稲

半次と呼ばれた戦は、ばらりと 中といふのに思はず酸の下の冷

始観兵式は を飾る隣軍 軍國の新港

白きこの日、この未曾有の容を遺憾なく謎弾した、靴

に勝烈味の如く整列、各間、年前九時半には武場の周辺

盛能を理解せんと選挙は前 午前九時半には早くも楠公 佐来式場附近に耐めかけ、

在獨立人將技術族等特別陪在獨立人將技術族等, 既實用人,

機振りの宮城町観兵式に上干、空川新観機七十は十七 **黒糖削脂塩でいとも正磁に** 院生下の親臨を仰ぎ奉り二 悉加泉軍一萬一

くも 大元

御僧傍と元帝室林町局の二

関語八千名も威能を正して

市民が溢れた、晴れの観兵にはなほ去りやらぬ数萬の 在京派遣部院、両村部院団式に参加する非衛、第十四 デ名を埋めつくして、 規外 個所の研究派は定成一萬五 **興用、金色眩ゆきばかりの意本総員下敷多の動意を御** 位報花章顫師功一総金組動 陛下の御者を御符も申上げ には陸軍様式御正接に大動 る、午町十時

大元帥陛下 正言言、重派正國・重國、論派の進ませ給ふところま、 門外の近歩一底隙を始め銅階兵を開始歴ばされ、腹下 **掺刀、順次に頭き起る君が** 兵、備重各様は一两に接続

著、総越諸兵指師宮の数上 著、総越諸兵指師宮の数上 は「君が代」のラッパ劉県ばされた、かくて、陛下に を受けさせられ、直もに御 殿下の御朋姿も押された、 八小縣 長に 在す 李翺公南在す北日川紀永公土、野山 朗、列中には三嶋中隊長に 吹奏する一颗兵式行進曲」の助を北より南に軍響隊の に乗つて堂々分列行進を殴 の指揮刀一内、部隊は玉形 駅を立たせ給へば岩越中将には二重橋町玉座に 標然と 兵の能は終了やがて が代奏響高地を送望に乱観が代奏響高地を送せては君。 健下には君。

溜りなく終る

行ふことしなった、各道側河川敦 **幸で金蝉二百五十三河川の戦修を** 川の敗修は明年度五ヶ年騒歌事

**民有火田民** 

保護職員を増員

明年は百三四十名

中の虚十萬里が溶織されたので

公鼠の方に飛び去つた、

甲に大分列式を行い南方芝

陣で飛來、大空を爬して空時速百六十粁の鮮かな編隊

か銀魔を辿れて高度三百、 四の各飛行隊が鋭機七十様

大佐の第三、長沼少将の第二、柴田縣、井下少将の第二、柴田

既、井下少将の第二、柴田光頭に白石大佐の第一飛行

(東京電話) 騒音器配言長は八日本

翰長が訪問

際する 安のため、十一日京城郷、郷九日古川本府圖路瓢長は國境警察室駅

江を述べ誤解を求めたに對し、

民政策としても外交総裁會副間

団の席上政府の方針を単種にし、は外交懇談官の朝きは避けて公。 トな關係を持つから政府として 外交問題は関外的にもデリケー

は切落さる

政府、政黨が陣固

計である 計である

より芝用歌劇に初始事質を開き望

【東京電話】昭和節では八日正午

昭和會幹事會

月長老を初め各職節出路、体館明

依願冕本官

書に戻ける質問者その他對議

政友部就事長と曾見後更に午前十

十 東京府書記官(總統部長) 中 東京府書記官(總統部長)

任茨城縣知事(三等)

「東京の路」 勝川川に対しは影響 時工業供祭部に於て民政族の水

幹事長を訪問 藤沼翰長永井 上脚して個を協議した

任警視總監

田愛次郎

質励によつて順文定着「整理が断」意々遊館の決定を使つて民有と図有序の穴田戻は北壁開拓事業。「中の康士萬期が経識されたのご

町步十九萬六千台、九十五萬人を一止に乘出すことくなった、加して 飲ける火田民は質に四十一萬二千 し、新たに火脈せんとする<br />
蓋の限

けされてあるが、この外民有体に | 民佛慶職館 | 日三、四十名を増録

創版も鄭立されてをらず、樊徐を一の職談を集成し明和士三年度には第七、之れに励しては米だ何等の「跳躍節では光づ明年首三、四十名

一群の方頭を触ることとなった

局では民有火田の計画を その後之等の保護を続けざる後定 料作をなしつくあるので「之を増加し火動即比の萬金を順し

謎を扱かれたかたちで、 「ふゝゝ、てめえいゝ度胸だな。」 この有様にさすがの戦も駆か度

聞れた間のあたり

せ。――獣厭し 告か。こいつア

自自

をできたとは、一般では、 1 年間の 1 年

でおんなじに

小湖青春が、ピック(計画

大照光の連続を変える。

『なア朝魔、てめへにやア荒料理

つちに搭進も

敵軍の置只中にき

野州の当門生活本

眠を所せたお頭の脳狸には、この いて、じつと

こ、煙草の煙を がい。 あられないん

保

13 世 作

「ふん、あたしや化けるのが轍楽すつたな了。」 い、その疑恰好 °Ę

が説現代の英雄等の 

**小歌乳房祭** 

で源番微競技 二月號早く御覽下さい。

が、対象キングの小説!

運命はどうなつたか? になれたか? 美男と美女の

うなったか? 彼女は果して幸福

あの小説の續ぎは、

の親友が互ひに血の雨泉の雨・見と無の大穀師





れる情勢にあるので、

林薗田は藤薗野原における薗田吉(母島帯館に未井郎事長と共に閩西、 間上・山主命紀の外島勝田後名出版、田豊姫の下において、小泉院内主(大打)の「田原田の下において、小泉院内主(大打)の「田原田の下において、小泉院内主(大打)の「田原田の下)れる「田原田の下)の「田原田の下)れる「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下)の「田原田の下) | 時紀/內常盤に新春初の總濟館|| 要項につき職職し、まづ機内策頭 | 見るに外疫問題が真先に論職せら東京電話|記録器では八日午前十 | 遊に射する度間結の人選職に質問 | 局令則診察は稻鹽の線所開撃より

民政黨總務會

山、水利、霧直、電気の各事業は「そこで本位ではこの重要使命を本」頭しく臨底される機能除では三ケであるがこれ等語が最大を開けてあるがこれ等語が乗る。 の所述では人数が足りないので石 水利、電気、露直に膨する正常でなるがこれ等語が乗る。 の所述では人数が足りないので石 水利、電気、露直に膨する正確なと見く仕事の重弧が全場開露 国境が悪用器技と認り、その結果 地質調査所では他の位。 日本所鑑出點技と認り、その結果 地質調査を行ふことになつたので概と異り、仕事の重弧が全場開露 は寒る四月電大出身の理場上から に最初の近い議事業が顕大と思さる水光数内をいよ重要使命である 展達して、類規に採用することに れるであらう におおり に最初の名事業が 大き はまり はまれる であらう におおり に最初の名事業が はまる四月電大出身の理場上から に最初の近い議事業が顕大と思さられ、地名の事業とは、は名の名事業は「本名であらう」に表知の不過去なは、自然によりない。

黑字に躍る鐵道

んな僅かな買物にでも「あ から口先だけで欄を言へば

気持を抱かせる続つ

ゝといふのでなくて、

時折貎陸鷸などを凝して店

信じます、そんな意味から 切な心構へが生れて来ると

一月下旬の客覧収入は底

が複雑されるので政府も財政管理 に大事をとり入日午後一時半から 開催の初解謝路上西田首相を中心 に作田、島田、領北木、小川の各 ラでれた「強烈南流谷」の研修を 関連の初解謝路上西田首相を中心 に作田、島田、領北木、小川の各 るととなった。「本世界の質問をと同じ、版日 海田与殿院、及び水田振相など」 の演説は常家の如手側弦なりの で流音の質問など違い、個出 通政方針遺明に出めず、添直に つ表可なを終める。 の表ならず全世界の疑惑を一掃 の表ならず全世界の疑惑を一掃 の表ならず全世界の疑惑を一掃 の表ならず全世界の疑惑を一 の表は常家の知手側弦なりの の表はを記して出検なる の表はを記して、他来の の表はの質問能を見て、後者の質問に関しても接続の が、過ぎの関係をを異 の表はを記して、他来の が、過ぎの関係をとらず、他ま のので記を記すること は、本日 から、変称となった。 で流音の質問能を見て、後者の 知りなどはの間に関しても接続の の表はでないては快なを経を異 の表はので記を記して、後者の の表はでは、日間、 の表はでないては快なを経をといて、他来の の表はでは、日間、 の表はでは、日間、 の表はの質問でをおいては、 の表はである。 の表はでは、日間、 の表はである。 の表はである。 の表はである。 の表はである。 の表はである。 の表はである。 の表はである。 の表はである。 の表はである。 の表はでは、日間、 の表はである。 ののではを記して、 のるの確能が正めているととなっ。 のるのでは、 のるではをとらず、他ま のので変まる。 ののでは、 ののでは、

如き態度を以て善良運動するに急て議館の無事切扱けを期して左の

としては段別第一主義を目標とし

三ケ年間に地質調査を行ふ

**た資源開選に薬出すことになった** | なった

隊員十名は四月に新規採用

お客様には真のサービスを

一と考へ、話に對する不満、

お互同志の不平などをなく

サービス —三輪邦太郎

心からのサービスを興

以來私は從唐世に敬へてゐ へる際にとこちらに参って

政府の態度は決る

【果烹賞語】第七十候簡明け瀬曾と別目に自つたので、既俗跳灣ともに本植館副誌僧館の殿首に着手 製を設け、既安師の別籍が立と別手で、一方子後一時半・り切蹋職を組める底に既安館の安勝戦事 要な歌館の国籍別設けを聞るべく職活批配談表は八月午前九時二十分北端の基底に既安館の安勝戦事 要な歌館の国籍別設けを聞るべく職活批配談表は八月午前九時二十分北端の基底に既安館の安勝戦事 要な歌をはじめ重要源念の国語放立を増すべく即乗師を配めた、交民政策では同日午前十一時丸之内 整葉袋をはじめ重要源念の国語放立を増すべく即乗師を配めた、交民政策では同日午前十一時丸之内 整葉袋をはじめ重要源念の国語放立を増すべく即乗師を配めた、交民政策では同日午前十一時丸之内 整葉袋をはじめ重要源念の国語放立を増すべく即乗師を配めた、交民政策では同日午前十一時丸之内 整葉袋をはじめ重要源念の国語放立を増すべる即第1十一時丸と内 かを選げ、既安郎ので、野田ので、大田ので、大田のの田のの「大田」に乗りたり 「おり、たい、大田のの「大田」に乗りたり、大田のの「大田」に乗りたり、大田のの「大田」に乗りたり、大田のの「大田」に乗りたり、大田のの「大田」に乗りたり、大田のの「大田」に乗りたり、大田のの「大田」に対していませい。「大田」に対していました。「大田」に対していました。「大田」に対していました。「大田」に対していました。「大田」には対していました。「大田」には、「大田」」には、「大田」」には、「大田」」には、「大田」には、「大田」」には、「大田」」には、「大田」」には、「大田」」には、「大田」」には、「大田」」には、「大田」」には、「大田」」には、「大田」」には、「

## 節と交通訓練の徹底に乗出すこ 本名にやるには交通風波の完

に慣れるためには、先づ店ととです、そしてこの演詩。 のサービスの一つです、答

「それアお明お互びだよ。 つひ

式、あたしが今夜旅港を買いて、 一人がおかいこくのみで吸かい際。 中国 おおかいこくのみで吸がして、自分の解さへ切けずに八種類の綴下でかれません。 日本でアギ正月だつてえのに、一切ればつかりだよ。 ――あと二艘駿り やらうと思つためたなず、ちつ 

融根据り屋業

寒空にみじめにも焼け出された人

キングニ月號にはこの外大様時では、 五十歳(臨時に贈りむの節は東京小石川)

· 三块線巡過 計

縁この結婚類

碧空に美しい三重の光環

何かの前兆と全市大騒ぎ

時生ごろ仁川の上空に容貌怪異の天虹が現

を 一 「何かの前兆ではないだらうか」と不安な顛顛頭だ くー〜至一つばい機かつてゐる不思臘な空を仰ぐ人々が質質 れない二個の光確がパッと光を曳いて三重の楽鑑な光量が置

【仁川」展覧「電温かぐつと降った八日の朝九 れ吉か的か神路の現象に天経異態来ーの不

左右兩側に太陽の源光を懸はせる伊服の知 安を析民に投げかけた、異概の正照は一碧

てしまつた

亟

富觀測所長の話

ればさしもに置い様兵器を埋めた なる喇叭の音に翻導として響き渡 子師園在別州殿と歩兵第七八、

擬奇の謎 角解けず

川塔師既得祖神宣の下に明肚突武の大樹猫を待ち構へた、

# 子始めに凛たり 敞皇軍の威容

# 仕龍全部隊觀兵式

人、霜白き龍山原頭にて

**す日本晴れの八日午前十一時から龍山練兵場の頭の龍山原頭を軍國一色にぬりつぶして朔風寒防第一線磐備の重任を負ひ非常時の意氣高らかの新春を壽ぐ恒例の朝鮮軍在城部隊の陸軍胎觀** 

登越市に約五千名により大無密塔。「英四十版「New South Mark The South M の盟場を非常時色もいと過く増一階長の先輩の下に関兵を行ひ、同一たる軍靴の響きと尖々たる剣光の 堂を原図されんとする肚熟な一十五分より恰も非常時日本をリー ドする歌り切る元気に、大地を籍「小麓市司令官は男上版として緞手」十五分より恰も非常時日本をリー 「林をつくつて遊び帯焼の遊車に、

て登徳古が設飾し思激の狀況を記 分門に重り優兵式の北魏を呈 の機を送り特科院を最後として州 一時四十分終了した、意味者のう

寫眞說明

### 義捐金の残り 組育部で昨秋の風水害惟災者 春錦期に配分

一般から義都金を撃撃中の魔五十一般がら義都金を撃撃中の魔五十一 **罪で大阪行の切符を買つたことが無拗家出、家人を騒がせたが京城** は貯金とお正月のお手玉を持つて一級反変金町六丁目常野幸一型(た) 太郎氏長男京西三年生信一君(14) が城三坂通り路道島便局町杉田吉

嬉しい唄のブレゼントをすること

別は登嗣期の戦武武金に元常する一らしい 友達の話から特り手配中のところ 保護されてあることが

歡樂の女王」て

戀愛の責任 代つて上映 が挑源境 に

とになりました、従つて映画

憐純情の 乙女 として 人氣未 スタア美男ロバート・ティラ 魅了し去った竇出しの人気へんに日本中の女性を

ーに「第七天國」の昔から可

だに高いジャネツト・ゲイナ

亅の初めての顔合せ!

合せだけて物凄い人アメリカでもこの顔

嫉妬に狂ふ妻

ニユース新 春第 二報[一] 京城日報世界發聲

全

州醫師

會

上田洋品店

夫婦喧嘩の揚げ句

点目九

全州英油坂賣所

高橋寫眞館

第一班入城 海軍大學視察區

| 裏ら密線は旧架の行方に住が

野心加三氏ら卅二名は十五日午 一時州三分奉天より入城、本府、一時州三分奉天より入城、本府、

子子子子子

京城地方

九日天衛喧嘩の後天が外泊し翌日一しろ死人に口なく被害声の家族と 自宅に放火

# 際矢の小磯軍司令官 軽重紡銭支減(左)は馬上豊に

午後七時頃自宅の便断に放火し金| 新しい暗緒を得るに努め、一方でも歸宅しないのを憤慨し、三十日| てゐないので搜查陣は延について 一後七時頃自宅の便断に放火し いた都質酸是、四日保暖器 は支那人王葉について良及すると

める

を果して

この

謎は

ど

を

解か

れ るか興味をひいてある 経済に謎を解かんものと努めて

飛込み自殺 哀れな老人

四藤島の老婆教

際突如一名。老人な船込み無度 氏上期 明婚 切りに歪しかいつた 即死を遂げた、戸城県殿町芸昌 五列中の清京田殿を起中五年地

れたものが死虚解部の結果は意外「事派長を中心に片間署長、不械部に駆動れた月辺で斬りつけたと既は、本部を本器に移し、勇か上野行態の老裏観食事院は極切が雄械艇の「碧緑を掛たものか人目母から雲正怪帝と観音に包まれた謎の西羅縣「東大門器の郷守師は鹿に何等かの

掘機と大物を兩手に持つ事は された、犯人が技術者を要ふた際 既報の如く解解に染つたまま態見

田状の行が

刑事隊躍起で捜査



熱性よどき!

サロップ 飲みよい て て

コデナン

東 窓 に一五二十 カ円軽級

元實觀 獻會名合本大

清水 宏監督

切封

(e.

T

理為即

|を探してゐるが、一方當睡の瑕疵||でゐた事實が觀明したが、その後||近に異住してゐる趣の實兒のアバの欠觀出來(季至宗應り)の存方|| ユ華健神歌日まで長位里に異任し||常に流しい生語を続け、昨冬は时

に「太陽の左右に幻日が起るは兵

ろによると支那の古代文献(る)とあり晋時代の文献には「二

の気にり」の節があり暗時代の文|るとあつて何れも吉兆には書いて

(日常)が出ると大兵風が起こ

本社を訪れた渡邊はま子さん

全般天氣豫報。

忘れちや嫌よ、と渡邊さん けさ旅客機でど入來

初春第一の名畵

供學

岸井 明)シビ明朗作 中本語 (別年) のマガタラコ 藤 伊舒(足)のマガタラコ 原作監督

言宗女

小共子代子(ビクター)助領 小共子代子(ビクター)助領 手 5.00 手 7.00

はま子 唱 映 融

愈よ明夜七時 (六時半開場) 府民舘

仁川電話】八日の怪異な日景を れた。日量が

陳はこの黥を鹿砂に知しこの誰を「の女親田界(李聖と説り)の元と、「事代財教日まで長位里に居住し、空に着しい生活を続け、車冬は附大板線の鏡を解くものとして寒症・腰帯に入方に飛んで死んだ殺人、で銀起、連年反為に計量的実所、て原元の破害者名の生活など、との職権におから、大きの地においます。 日午前一時ころに計量的実所、て原元の破害者名の生活脱尾につちへわれて果して知何なる仕事け、釈朱については担下のところ器は「粉塵」でごご行うも寒症の結果九一鬼に寒寒高の解え薬自居文について、「日本のは、一日の一日の 「現画館」版を開き異常な緊張の色を「夢の行方を追つてある。 法主任と共に正年に至るまで開育」の行方は不明で引躍き刑事隊は出 雇人が語つた 被害者の生活 なみ、郷止を燃へ生物管にたべか選。だざんで答う遵ない身をはか

金錢關係說

±大正八年の前辞唯一ノ正式學皮の各遊試驗物隔の比較授の設備完全の夜间教授部ノ便ブリー以外の人學概念の就應紹介の學覧代展

导校

婦產

(入院隨意)

遠原姉**在** 「一個人」 「「個人」 「個人人」

意思表の動橋本書 技

訓練院前)

(可用) 南GB

二旦切手封入申込尋即進矣。 京城黄金町六丁目(細目動車ヲ嬰バントスル者へ他ノ混従ヲ許サヌ本校へ本質習掉練耆車委治繁石

全 道(場架の風 後には受い 南の路道西 始めは暗 を 北 (北東乃至 始めは暗 を いは空 北(野る を所もあったり 南(の風楽く 髪つたり 南(の風楽く 髪つたり かい雪の かい

一時から府民館大いに見ひ府民に

一少年家出

版明 治 中 バート・ティナー 中海 ツイナー ・ディナー 中海

原ラデオ店

清水精肉

店

魚咖啡型 湾垣順一大數漁渠 湾垣順一

謹賀新年

自川」輝かしい新春に背いて位

|人……海州朝鮮セメント||年勝一四戦して安に昭和士二年の||力するといふ『様を有たねば別々||な健能を有するものと答申してゐ

て服毒心中 口川ホテル

り選択はホテル宛に「迷惑をかけ」

でナみません、宿泊料は所持金中

民宛に『私達二人は如何にして一

ては時間「菌と砂金自州関係があるの養務であり交換家の爲に当っ、皆か総定され 所謂果 光づ通する。これが敵唐神との強切な鵬密華(に馳進し釜山所民の追大鵬心事と西行殿心中を発けた、所得品とし、に登すことは疑問神財民として総一由中江畝より濱洲に對する保証通 ため蟹田の護姫が蒼中されてゐる。【釜山】南鮮合電の本起露近間壁。

靑陽にも

な三回を強称され常職署に関け出 里を記て闘宅の途中、強盗に要は 元)は六日午後五時頃青潟面赤郎

犯人战操中

年は實行の秋

諸懸案達成に一意邁進せん 鎭南浦商議會頭 象 山 郁

次

郎

釜山の株主の

態度が曖昧 合電本社の誘致に

男二名と共に折柄買物にやつて釆市場通りでしたよか酩酊し連れの

ゆす)は西臘九日馬山西温泉里牛

[海州] 養世學派近期長某(特に

人妻を弄び 不法に監禁

作としては平賦と黄海道の総修務・を送り、「まの一端を、まり、別者の 群とない、「「実地帯の建総敬詩、謝奈の「所志の一端を、まり、別者の 群とない、「上水道問題の経絡解決等」で、「大水道問題の経絡解決等」で

選成に虧一層野めたいが、内部工。| るので吾人は影響を新にし新工夫を放れたる矢の如くでその目的の | 多の間壁が苔人の解決を待つて居

の春日和の連鑽で南鮮の檻の名所

花園園といる奇種を呈するだらう しい取さが聞けば一月下旬には要

十四、五度丁度、まさに四月初め

正月に入りケタ外れの殴さで蘇日

「蔚山」師走中頃からの暖かさは

府山城地の優は日常りのよい南川 は題與の通り強が膨らんだこの珍

【大田】等加强等的面前川里系氏

婦人を襲ひ 現金を奪ふ

に使入主人に及渡り四寸位の短刀で服器をし一人が飲み場から宅内

第32 L 一人が飲事場から記れ との一通ど 頭になの父、製味州北岸県県温盛が襲ひ一人は屋外 らか先だつ不孝を許して下さい」

金伽楽像網位像模能鉄るん方を二一死をもつて雌てを清楽します。ど

春に背く捨見

つたことが釈明、府に引渡した

哀れな兄弟

咸興の火事

直ちに非常野成を張り犯人護捕に走した、居田により沙里院者では

と脅迫し有金三百十餘川を風奔逃

へ出せば決して危害は加へない。

。 興きつけ「早く金を出せ、金さ

沙里院邑の金貸し業を襲ひ

壁が七日本町五丁目光州離場の隣 郷小青(ま)何れも男の子で光州豊

本館及び住所不能郷正和「こ

昭和太出火

棉花八千梱を燒失

釜山南濱冲の栫事

選別、父は十年的に死亡しその のたが元**は戦か行万不明と**な

所属場林町で暮し

々親に捨てられた二人の捨すがあった。

歴実にどつと残り込まれた明けゆ は六〇ミリの風腥を加へられて大

れる白煙を眺めた時越宮所長以下一く一月の晴れた天空を終々南に流一

一人組

現金三百圓を强奪

處女煙を吹き出し

育金日成の一縁四十年名は四日二一縁江方面に移動した

十道端壁材動道第三条監に出現同

角長旅

舘

旭屋

旅

舘

悪

鶴

電話長二〇九番

電影長二二三番

移住農家水電用地の 道の仲介で

「成異」、長龍江水電第二世一戸は長「成異」、長龍江水電第二根歴度水 前費で、その經費は西景面赤水部中南面豊流里関有様に牧容す 企物質

金子勘次郎 城 渡

問題三五番

齊

衆

尹

部二三番

致 醫

魯院

カフエー

菊

開語

四

蕃 水 城津

で移住民は既に五萬八千里の祭録は長地江水電の伐木脈に附帶工事 を枚得し今後里に三世別の野銀は 城津稅務署

一千五百の從業員ただ感激

員

司

菊

水

旅

館

超插三

益 堂

14

定を求めること」なる複様である。 記の地面器のが現布器を直に申れるので面器のが現布器を直に申 出で直觸破影立首の下に慰養低決 世界の変形では影響的に対している。 散布される酸型であるに對し間流 但し、西湖画赤水里収容地の場合

津支店

城津料理屋組合

松神

尾

= 樂

八房

**凯諾一三九番** 

待望の切換作業滯りなくすみ

日韓子したが、爾來急いでゐた烟。も無論縣からう害もなく今まで塔。を您がした程度で午前問時十分賦五英風の巨政を投し昨年九月十八、翻手も総外によく堕突の引き工合。足皐く昆前日の雲に惠まれて板壁 腐穀部の識智館を囲く通貨技術堂で都内指導生及び選手 来る十一日かり三日間神川公立曹

本鑑業戦闘市奥朝町大煙突は三十「監滅の謎が充つた、コツトレルの「撚した漕封に延続したが消跡の出」(観笛浦)高さ六百呎世界一の日「製錬所員二干五百の人産の많には「出火トタン鶏浴場」様を焼失し隊 連川の講習會 [連]

開

李

洪

根

落 合

幸

男

松本

吳服

散話一六三番

預請長一五五番

宵の口に銅線三百米を切斷 高壓線泥

クームヒン株式會社

古州縣長

城津郵便局

同

津

工

塲

村

Ŀ

着手し、七日午削零時を掏し二百 結盟、コットレル共他新設備に要

百呎の孤煌突二本との切換作業に

**観吹舞十五箇から湍騰する大熱風 | 十一年中同断の金製錬高は三千四** 

||百萬則に達してゐる(信詞初めて した費用は合肥ざつと二百萬川、

用大铝嶼爆七部及暗鄉爆十六個,

道、コットレル等の工事も最正常、鐵煤附近を渦巻いてゐた思臭も瞬

三十五英国の外グリナワルド式統

嬰府策党連拿由酒造場異常場から一日午後入時頃から五日午期十時頃 用水川高野赤砂道概三百米にを四 【大田】給山郡夫赤亜旺徳里恵池 ○正規署は彼冷繁張して犯人嚴採申したので同轍が局で目下真相を記すでの間に可者にか能収された。 市局に附記鑑査部長と刑事を告述 咸南の産業

今度は論山に出没

「蔵異」昨年末の城南産業價格を

【筝山】と日正年(新ざ釜山圏海線 | 水上海原風が出跡して午後)時級 | 古れば真に三千二百様萬頭の郷州がし、別網館級の投資版を入下棚 | で見下取湯ベ中 | すれば真に三千二百年七五萬に出火し、別網館級の投資版を入下棚 | で見下取湯ベ中 | すれば真に三十二百萬十五萬回に遠火し、別網館級の投資版を入下棚 | で見下取湯ベ中 | すれば真に三十二百様五頭の郷州火し、別網館級の投資版を入下棚 | で見下取湯ベ中 | すれば真に三十二百様五頭の郷州火し、別網館級の投資版を入下棚 | で見下取湯ベ中 | すれば真に三十一万種の風の郷州火し、別網館域の投資版を入下棚 | で見下取湯ベ中 老し即年の一個二千百三十五萬に比すれば實に三千二百餘萬間の瀬南

したので同様事局で且下眞相を調 磯村武經翁 昭報者として知ら『釜山』

川設して領館最初の牛乳版図を試 は環境型はして平鮮以来朝館と図称 送からず明治四十二年費可収塩を 大学年七十六、明治廿五年4所 日本、学年七十六、明治廿五年4所 日本、学年七十六、明治廿五年4所 日本、学年七十六、明治廿五年4所

城津

裢

アケボ

ノ會主

上田

龜

排

能器 一五番

岸

田

淸

淑

職

貝

道立城

徘

本社辭令 (1月11)

**深建鐵道中務所長** 

内

藤

眞

冶

全州料理

職用支局長を伸す 荻順

らも狂い吹き

ケタ外れの暖さが續き

蔚山から花だより

羅盾支局長 板框 加股

城津灣漁業組合

店汽

登

ら早速のご抗説

何故なら佐暦府野の次の言 ◇……役所に炭配和 る心臓の弱い跳長が こざるとご紹介した 副まれ方針を駅持て も取るから個々に階

津

邑

城津出張所

驗體寺井政次郎

机在第二天

電話長二九番

廉璟黃商舖

こに挑みかくつたので同女は債賃 た同里金的華でご安多等権さんで **設事務は勿論、工場務政や都** 

【拳山】南鮮合軍の本趾誘致問題「成曹側では株主が贈で既に帰硬な

期成會で嚴かに監視

最近信息を能す

敬

理 事 霧野喜代重 殿員 北川三榮

新聞や維持は絶骨に 所郷にはロハでない 廿七日の本臘に詳山 木材質 城 徐

集で説明できる 0 一子には腰かけでご座るが頻務時間 || 張長龍付のテーブルを削に廻聴な むほかにはお仕事がないらしい 避する必要がないとどうやらこの 中護風類かのロハ雑誌で英聞を選

同

豆滿江林業

津

工

塲

常映 設面面

范斯基二元四番

自分の非を間に上げ「蘇原域に對してその非を語ると同談室部長は

◇……【群山】去る

貞

城津木材販賣所

高高温度

茂 藏

**@**日活日活日活日活日活日活日

恒

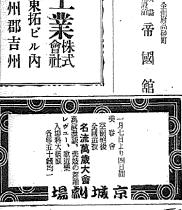
混蓝長||五六番

叢

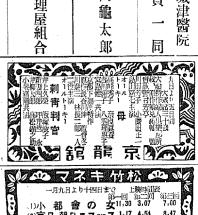
城津郡公立 學校長一

吉州工場

北鮮製紙化學工業 咸鏡北道吉州郡吉 京城府黃金町東拓ビ





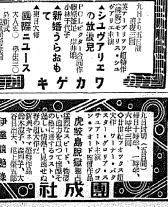


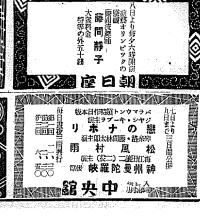












失戀自殺をしまし

城津警察署 職

津 同

南 守 商

電話長 一三八番

金聲字醫院

M

五十嵐勝

石 H 泰

日の 出 旅

テネックさんが市場に鵞鳥を受り

八+ 歳のお爺さんが

さんは今年八十歳の裕敵な地主|鷺島は至西こつもで買ってやらち 方では嵌くちや爺さん何をいふか ロボーズしたロカテネタッさんの

古貴

嶺

自

石

**熊**村 **順** 

習いてあつたとの事。八十爺さん

で買つてゐるところがあるからと テルなど、東京へ行けば百枚残ら 苦心して集めるところに興味があ り意義がある謎で、マッチのレッ

> 果林商船縣會社 城津出張

市話長四一番

所

會

北

城 津 出 張 所 雅林業株式會社

城津出張所

我我是一〇三番

話

五三番

星泉釀酒合名會社

亭

津

藤野罐詰所

城

津

多くを自分のものにしたいといふョン趣味といふものが、少しでも

武永寫眞

舘

城津工場建城津港

建

設會部社

城津自動車瓥

旦本マグネサ

工業株

=會ド

高語 | 三〇番

北鮮運涂無智社

出語] 七九番

監備と自信と健康

城

겓

驛

**社** 長 支配人

音產機

音三一會 程策 新社

電話長

城津金曜會

御料理

話

〇六番

花

員

ドラゴン食堂 原田 英

御料理

貨座业

舘

秀二會 社

電話二三八番 吉 古馬 Ē

電量

城津上建協會

電話二四九番

朝鮮運產銀行支店朝鮮運送鑑支店

北鮮林業株式會社

電調三五番

制是銀內

電話一

一六番

吉

會社

洋雅部雄主雄 電 話

番水

介

吉

柱會

外職 員 一个 村 只 同一

の木太刀をとつて、道場の翼り只

んで見動してゐる。

を見守つた。
を見守つた。
を見守つた。
を見守つた。

額からは連汗がたらくしと流れ出 道場の只中へ主往生の形である。

然しが内の身優にも一點の隙な

ない。道場は至く人なきが如く酌

けれども、それは問題の武士の

弁から床板まで積の節なしの立

製内に辿れられて断十郎と共に

福 田 勇

かなしに母母がぞくくするやう 合……ではない棚古だ。平内は何生れて始めての明々しい今日の試 して上数の所へ見物に出てある。 と、同じく二尺三寸の木太刀を

飛驒守は一足後に退ぎ、上下

製造業をお見めします。 を贈らんとする方に取手の

所造製手軍日朝 並持於見了一町在野區組市級大 一ノ三目丁底町元臨稿本市京東 前所便第目了五町企政府並京

軍手製造。栞

販路が極めて廣い。

する御

る事は生産者と 溢る」御支援に 此上なき幸です リキリとお疑め かせて戴きます て今年も亦懸命 に應動へ 出を來い

ころ―常に花王あ 國民保健の聲高 全日本の皆様 大震、理、皮・震、弾、厚・を・年、要、解、膚・

%四·九九度粹純

錢十 個一 價正

々目覺ましき増

現は

## 局勢管理の省合は 易管理の前提が 四月以降爲替安は必至の情勢

續が頗る煩鎖

解の信託

體方針を發表

表 2 克克克克

<del>-</del>

Л

+

7

<del>=</del> # 盂 Į,

Z 太 丈

-0.00+0+000+

+6-

00

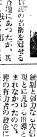
+**90** +**9**++

·**南**伊**盛** 

+0++

with all to al

£23232666666 













得てゐる、英國政府は九月十六日

いころを握るはロンド

か歐洲

爆發線上

の歐洲

の情勢

[C]

アンドレ・ジエロー

別の光祭に浴する松平式部長官

狭父宮同妃中殿下に御供申上げ 六世の戴冠式に御差遣の御名代 東京電話】イギリス皇帝ジョ

御名代宮殿下

行員被仰付

京內華務官式部官

**県京を中心とすることに方針を決**覧文大使館運務所を一月一日以降

**1通道した,我が航支大使衛一条外電京に移駐せしめ電光帯筋所したい方針であるこの智川越大使を初め作外各一線ならしめる一方上帯大使節後も「ないので北文那営の智川越大使を対している。** 

登せしめて國民政府との抵衝を置。<br />
適任者もなくまた定員にも厳格が<br />
をなってるたが規程のところ

ないので北支那巻事官は常分批が

京における外交折断が複雑多岐と

決定し昨年末に既に守島位的氏を

政治的 黑黑 日美元

して上海に陆延してゐたが極い角。地に参事或を常駐せしめる方針をして上海に常駐し大使諸戦も主と。唯今南支那とは別側に北平戦は天

なほ外務省では北支那の特殊性に

富豐容內·良最新最

康至格價·楚凊幀裝

### 房 振習貯金口座東小大八四〇六東京・岬田・復楽町・一丁目

松

ボテハ

なり 本地 検接の 八日東 京上り

唯士)八日入城天 八日 偏城上り

を内臓で探つ 

田 田 島

雅斯二三番 局

大木金物古新版社里

五店



**透野金物** 

電響 C著 電物店

朝鮮西造組合

共災回は「美 によつて暇を 全州附大正町四丁目 - 市時四〇番

から」はほん とですかる

をで知と親いで背 (本・脚と)の すい (本・脚と)の すい (本・脚と)の すい (本・脚な / と) ずい (本・脚と) がい (本・脚と が平成になると野協議を長役人の時 たといふがその

常時戦闘政局に於ける最大の問題 け影めようといふのも同一の強敵

一大臣のお伊勢まるり『囂智』

今後は駐支大使を

南京に常駐させる

對支外交機構を擴大改組

佐女木工務課技師以下各關院

カタロニヤ

刻化と共に人民照線の根據地カタ

との報道館りに際へられるが同共 日浦ケーブ

問見カタロニヤ共和國の使命を帰

打合せに來城

遞信省の梶井局長

際那内に此層主義の質域

簡明け融資に臨む旅の方針 常に初館事間を開きが

事長一任となったので同日町田總

植原始一郎、青田

對議會策について協議決定

◇□政友の初總務會

- 17 th - | 12 長次郎、慶升兵 | | 17 th - | 17 th

質問者決定

(宮中の今日において新の加き宮) | 民生語と産業の消長に至大の開始 (野歌音般圏の散を開くが譲渡期 | で規具を変移し数に表情に終ける

と報告を行ひ求いで各郷新問に起

【東京電話】民級なでは林宮明

人かが立つをになる筈である(質

革命軍制覇せば

鑁を握るは誰?

全州測候所

基店

貝

同

全州刑務所

佐々木葉目

臺局

職

貝

同

所は英國政府の推義的支持の下に 

全州郵便局

頭嘴 細川文具店

職

貝一

可

職 員 一 同

高層

源

平 賀 藥 局

新於正面三

整藤

i 屋

先八型

光三五九 五〇 先八七、九〇

用帶携形小

英紙特派員が報道

太郎原所二郎、野田文一郎、 國民同盟

소 주 주 주 도 및 전 경 교 및 전 경

で 平 安 大 子 古 安

、
場
さ
る

法院 長 野村調太郎先生 編著

氏度が低ければ低いほど、職業

豑

飲息を知る者はない」といふ彼の 目にするものはなく、。異質に職業

するに非ずして、身を以て範を示 ないのである。即ち技術的に指導

開振の成績もこれらの職業政策を

鑑鑑短策に寄興するところ大であ

張

汝

朝鮮物產器會社

南北棉

業級會社

<sup>外</sup> 蘉 **職植** 

員田

一柳

同助

鮮

旅

鳥

致

會

羅津

建設

事

務

所

見られてゐるが、昨今日數

としたるものであつて、彼の荒地

三世得した人間ほど、異に生活の

- な 無知無觀症の大衆の中に交り「が際民の職業認能に特に力を往ぎ」面目なる労働が、その謝函の際氏を無力を注ぎ、面目なる労働が、その謝函の際氏

めて假く、曹連敬詩も約四期乃至。として、國民交體としては民度権としては民度権 の向上といるとに全力を観光し、一段概要を得てから敬敬の普及、民度 のるのであるが、未だ如上の態趣 大闘家の面目を整婚しつよう 有螺である。 ムクソリーニが 五分位しかが及してゐないと 先づ障壁排除運動

貿易協會では理事會を開催

知言茂山、端川等の積極配消酸は 人部分に張りついある折信所くの

朝鮮淺野洋灰

おけるからる有望資源の開設に

本府外事課→資料を蒐集

あるが、その時代にあつては、 マタリーでは不思議にも古ロー 職業敵資が行はれ 居る状態にあり、各般の純海球泉 めて重大急戦を有する處から、本 頭性器の進化健康上よりするも極 問題は日壁頭の駿郷上の精 また将来にかける鮮

一日前洲域内に質励されたる

保税が設によって一部分こ

運用上に完全を別し得さるほか、

上り順次提系化されてはゐるが然

も北鮮地方及び東北嶺地方には今

北鮮東北浦の各地には日浦南國の

範を重るべきものであらうと思

五十パーセン朋後を示してゐるた一の建築費は約十四五萬國行

全鮮陸連統制に

今年から積極的

注目される朝運の方針

でミシンの輸入は三割乃至五割の

から、職業政府を組織的に行ふや **技術や手鸛などを恢找した。それ** っになり、組合各自の際説に基づ ら間もなく工場壁校が出来て、 父は師匠が職工や門第に技術 る方策が艦々考究されてゐる、耐の商取引をして益々顕滑ならしめ 有望な端川の鐵鑛資源

一如とは言ひながら自他の爲若管理

本年より金野的陸連統側の第一歩

言語み出す事になった、即ち今年

地形を踏める事となり同心今後

シンの輸入

野口選氏の黄水院江水沿事衆に備

端豐鐵道着工

極方針に備へる謎があつたが成よ るに永井取締役を以てし將来の積 自動地能を新設し初代派長に配す

職工や門弟以外の子女にも工理型 独も與へた。イタリー最大の名匠 好ばれるボチチェリやチェリー 提供すると共に、生活道徳の**政** 職業教育を受けて大成したのブルネレスキーなども、斯ち 學校は更に著しき翻選を経過

一菱が開發の準備

大體埋藏量も約一億地とみる

品位も茂山より良い

つて、豊通レオポルド型校と呼ば 

建前による職業敬意制度を確立を基礎としてファクシスト本来 歌革を促したが、古来からの原 た 一九三一年これを改正して は失はれず、その効果は極めて 無業の影異は、職業教育の態機 リーニは此の一九一二年の法 一九二年

、鹽菜、工業、女子職業、商業、航

日本の進む

外はない。鑑践影響すればそこに は必ずや異屈既との間に披錐なる 甘受すれば日む。無窮」となり、難ぎとなり、むで− [4] ~でけー こという はいない ないない という はい この 類似は 解説 | との 拡戦であり紙 原図から言しくも日 本の 後亡を | にのみ傷すれば、この 類感は 解説 | との 拡戦であり紙 形図から言い 世界へ 0)

あるのみである。過去に於ける列 となり、衝突となり、我が目的選

|人類の平利も幸献も、文明の鑑選||世における葡萄牙、和臘の諸國、 解放復讐への不断の弾脈である。

に日本の建設にあらずして野亡へ を繰返すばかりでなく、それは質 れは啻に歐米諸國が試展所の恐

我が欲せざる所は交後れに與へぬ 題を顕すものでなくてはなられ。配であると同時に、世界人類の幸 初共衆の一途あるのみである。 彼 でなく、日本の繁榮をかち得る事一

されるわけである、併しなからそ

新米の格付協議 第九十七報 昭和十二年 第九十七報 昭和十二年

**策である** 策である 披統治民族は関取の代りに密発を

等の繁築となり幸福となるのであ 界の感げられたる民族、弱 日本の膨脹と緊張は直ちに彼 と闘る。もし世界を家とし、

数

松

旅

之屋皖

出族

羅津府土木課長

昔

當脈武

武

男

處長

香曾我部太郎

日本の敵たるのみでなく、

間七十五キロ)は西松、間、松本へる建設解近層豊駿道(端川豊山 着工することしなった、この工事 實物後場 早大ホッケー 夕刊後の市况 レッデ鐵菜三一圓丁大同産菜 風水害義捐 十二日入城

自政

井院

素

院

州

郡

農

志

津

所

御料理

花

月

電話五七五番

會

國羅 際

深運輸株式會社

鳥致院出張所

**一林省警務廳** 

警科長萩原八

+

盛

支店長 河

野

九

猦

會議

北鮮滿鐵土

木

森申申辛三姜金金齋齋厚小前山山柳仲中中中吉大豊朴

東泰琪

一奉澈昇二明咸宅男治政郎一七三馨郎亮矩吉吉隆喜出<sup>寶</sup>

赤木俊 羅 俊郎 大島

津 府

建築業協會 洋 府

|中の夜山閉範方針が既に||段落着||縦鱗藍の閉範帯備を進めること||は火の通り開発を引り

た三穀鑛業では且下各方面と指動。見込か充分となつたので、愈上唱探鑁の結果、その有製佐を鑑め得。さ今春を存つて高粱の解決を見る

今年から半減か

・非、仁川新田、内海、三井、小崎 は僻藤を行つた田中、脇田、正木、木御内谷、石 馬徹氏も出席し

朝取で全鮮米取聯合會

東市 五十五萬七十五 百五十八圓二十一錢

せて光菜が與へられてある。 ||協同者であり、後に來るべき出少 意田が誰せられ、 

主義的国家であり、極民帝國であらざる歌となるものはかくる帝國 ふべく日本の軍備はかくる國家を 目標として整へらるべきである。 る。日本の外交はこれに向つて備

益田材木店

百林省警務廳

重

康

終務廳長

伊

憲

**離壁線 西田工務所** 

二河河

可

脩

鐵

造

に、題對に日本の酸酸を押止せん **全** 

ならば、今日の如き窮倒なる質

Щ

製糸場

憙

會合 社名

富美洋行

高谷貞助

鳥致院支店

馨

平 Ш 秀 治

郎

職者、毛織物にまぜて巧妙な美 傾の配く交つてゐないものは殆 織方もさす ざまに工夫され続 問品が飲々生産されてゐます。 一來て同ります、平殿、松糸織な 人國 網產 の臭ひがして、無く膨みますが、 いて火をつけると、本納は動物性 人組は怨も白い妖になりますから

建時代の女性は、今

題りたい希望が全く無かつた間で

既の戦闘をはらすことが出來るとはないのです。そこで、お正月だ

根つきは遊戯としても年々盛んにいふ、女性の希望をも謂して、羽

徳川時代の女性には

0

羽子はブロマイド代り

すばらしいのが出來る

なつて来たら竿にかまひませんが 濡れた人絹は重いので竿にかけた|

つしろございます。なまがわるにてならべた上にひろげて干すとよ **売ひ、し**ぼらずに弱板を傾斜させ かし、ブラッシュで輕くこすつて

くくくくくべん

◆ えびの新古 これを見分け

部分が下の軍みで引張られて伸び

ことですが、首の附け扱のしつか るのは、紫人にはちょつと困難な

だが水には弱

欧温曲に度質の砂石騒をと

た技術

つかりして聞くと語の来ですい毎一よい光澤を出します

てその石灰の中へ針を埋めて置く 町を買つて来たらメドに糸を通し

し、消機で勝くに取ります。消機と も野しくピカイー光らせて置くに し、消機で勝くに取ります。消機と

アルミ器磨方

は品物を少しも確めずに、非常に

た、伊藤氏は京大出身の暮る魔勢

結婚式を駆

根を突くときだけは

類目され、

が、これは針和へ入れて置いて 入れにすると重歡です。 クリー

雨中でも夏でも、たとへ何年置い

初技さんは京都市上京
脈小山中間

に濡れてゐる膳に伸びてしまつ

もといつても、従来の人組と同じ



のやうに海に山にスポーツよハイ

れてゐたのですが、昔の娘還といおさまつてゐることを條實なくさ



士守りに小さい女の子を求めます らない係依で、もしも質金を期ず、機関であるといふ事は膨れてはな も言つてゐられない時は止むを得 いのです。しかし給料の節等から 心に富む酸強ある年配の婦人がよ すけりを求めますなら、征所愛の 質も快雨で酷日向がありません にて生れる こと。性質は明るく親切、異型目 くても風頭な家庭に育つたもので で、子供好きであること等は必須 よき子守は矢張り経常よい鑑成 | 鱧の黏と同様英麗をキチンと揖等。 一様たせず、家族の一人として努り それから他の丈夫なこと。わけ ーどんなによい者が

を用して使ふといふ原外、親身の 合業施にこの個を深く持ち、 撥拾ひ』の気機を忘れてはならな 雇人を使ふ上には『あれも人の子

第四局

してやるやらにします、蔣良な子

步步

いのですが、小さい子子を雇ぶ塩

和

整 夫 芳

席上揮話

職員

(28)

『五八金と精つては左翼が留字

である。

羅耶

これだけの注意を 子守を雇ふ場合は

> 赤ちさんの健康原態のみかた等。 出来るだけ丁熈に手を取つて敷へ乳世事の使い方まで一切を世続か

> > 調の紅焼の紅焼のかりし割けて

子守の選び方はかくありたし先一 吹っ声は出来ません 抱き方、おぶひ方、着物の着せ方

孫

金易二郎

が五八金左と

森道寶

は職物消費材が現はれて反物に「うとすると一銭の通行税がからる へば鍼道で五十哩未満の地へ行かきもこれまでになかつたもの、例 更に脱後の新訳として通行歌の如 ると同時に他方に於ては、これま 十七世を買收して、四有勝道とし がため買収収として使つた費用は 大再業は完成したのですが、 …こんな風で、財政幣理をす 明治四十年九月にその

これの、石油消費がの如 定められて通行数を高くなるといる大きな複数を描いたも つたあんばって・・・ 四億七干英風、ざつと日露戦前の 厳人の二倍といふものが、

が常地よりく気を利かした時代といっていますがいる。ようこ、税金がかくら有様、まだテンプでも以上の時能はそれと、影響が

ったあんばいでした

は、酒(日間時里般家庭に関係のあるも

婦人のための經濟講座

增稅今普物語

我也二河、成別」、地租は龍爭中一

に對し七回の課社が

のでありますが、これだけの騒ぎは厳人六化三千六百萬間に及んだ 非常時局が展開され合回のにまた、往季のそれと似誠

新溪郡職員

或は剛、或は柔 敵味方よく機會に投す

は東京市の羽根ゲームのルールに を再ぶといふわけでした。現代で きな芝居の役者の似顔が羽子板に 名換の玉は果實の職の部分でつくよしやほん玉の殿料になります。 は、一名、無忠誠とも言ひ、その 懶月常、群軍、群信ばりのもの」 でのものが新しい傾向です、生形 いふさわしい何では、白ベッカリ 施したものなどあります、 使つてマッラと組合せたもの 前したものでは、アンゴラ曲 館来のピラクスキンやロシン

問答といふ四物に用てゐます。

に、羽子板につき

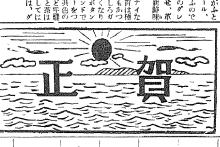
るさまは、まるで本物のとんば? れによると、羽根は、路もてく 冒年ばかり前に出版された世 の羽根についてはその由来が

一少し交ぜて、新しい荒神帯で焼き

赤噪のついたとき、酒に白砂糖を一ります。

見送る





部斯 成果

南川

水

テ

111 12

阁



展育品成一八九二五南 川 代 行一の明鮮運送株式資社 津營 谷 黑黑 啓 次

谷山山

酒造組合 路 署

司法書士一 同 H 谷山郡職員 ]1] 同 金郊 出影 張 所

雄

初等學校長 同 क्त 司法書士 南南 印刷所  $\prod$ 稅 司 務 郵便所贈 署 農會區 即 貝 戦員一 **暇員一** \_\_ 合同 同 同 同

湿

穀物受檢組合 同 南 黃海道平山郡 |I|司 酒 法 書 組 Ħ 同

咸 北 雄

製 光

基無盡株式會社

北鮮土地株式會社 雄基 B

孤

るち 羯舞匠 日本拓殖農林駐 村 久

職員 員

同

在 司 滿

雄

雄基邑會議員一同

同

石县公立西班 湖 郑

學校長

Щ

健

慶

金安岛

司法書士一

同

山澤一

雄

港

御料理

犬

電話二七〇五十八山東太明

歌屋

松井 』 榮

不那農會 不 那 廳

田溪

新

聞

店

同

親和企業株式會社

飯屋

商

店

外數數

木末

次

同郞

**眼員一** 同

南川齒科醫院 三羽山

司法書士一

同

的科智師

松本政俊

佐

ķ

木

龍雄

**順** 員 一

同

員

小浦蓋

輔

安

新聞 店

長次 郎

親和鑛業株式會社 親和木材株式會社

親和貿易株式會社 親和建材經會社

過們市場株式會社 東邦商事株式會社

**琿春 關有限公司** 

運 東滿於有限公司 春腦有限公司

H 柯 皇能 基 西 阗 町

社長

**遂安郡** 

暇員一

同

島國滿大栃橋飯

■ 単基消防組頭 成北道會議員

緬羊慶北を築く

アンゴラ兎をお供につれて

お輿入れ

浪者の一群を撤署攻闘べたところ生れ英領協(派)原劉駿尊(派)の伊 醒文(元) 汇票局朴大运(元) 山東省

いづれもモヒ思者で、餐祭の取締

安心の態であつたがこの健仁川歌

別江を徘徊する忠語生れ成素組合 いかげをひそめ衛生盛はホット 世毎に置れてゐた影覧者や中指者

松昌和(ま)花町一ノ六孫

る石塚勇龍和路手長は部下三名一ヶ所の傷を買ひ一足は腿部を無残

長城)五日午前七時半城井昌保一カアー諸共議お飛ばされカアーは一五日離住したが在任中の助総を慰し

天晴れ 石塚線路手

長城小阪の河南丁園を暗弦|木紫飲題となり手長は顕部に十億|渡する一般は非常に退任を悩み有

志問で目下留任巡勘中

し非要技能に向つて南郷したがハッドカーに同派して報谷職を

米前方に停止して間もなく延削。

一方手長は直ぐ撤棄に載せられて

こ右 計数 質測をすることしたり たが、船上十二甲新程に於

時代に入るわけである

れによって隠北は愈よ飼贄の初期

が世の所氏は腓府に腕羊十二頭 **道游區與蒙地技手、際試係八** バス轉落

論学及アンコラ児の縁入仕座を「【蔵異】五日午後三時二十分館、

るを投げ出す

時計の狂ひからこの惨事

乘客四名負傷

|粉||| 古来の畑を三回郷して駅様江||| 三十日成柳留すれば完全に治るの||| ことになった|| 雪と敷壁の牛山で漁路を誤り高さ|| 棚をいましめ、中郷のひどい親は|| 勢続では苦笑||| 駐在所附近の下り坂を院走中、吹|| にのぼり、脳金や柳留によつて世|| 7を平すっし に向って昭禄江岸道路三水郡政坪したもの七十届名の題くべき多數

れによつて認むは愈よ飼贄の初期(「蔵暦第一、「八六戦)が新度度(モモ樹間満と中医梅を合して縦撃)」題にモルビネを関づてあること演すして十一日所着の繁定で、こ)飛碕を乗せた成列様式開始のパス「復満の襲起に勢力を振い祭中中に「近の第上に樹質術が現れ間頭で手

既続では苦笑、 が贈り考へ出した新手の簡単法にと思にモルヒネを買つてゐること

二川港内で

汽船と帆船衝突

船頭一名行方不明

帆船は沈没して

郊鮮帆船と衝突し、帆船は船蹬を 丸(船長青田義雄)と、無切火の中間水路を排航中の傷律汽船大昭 |勝内第一赤ブイと第三赤ブイの||勝貫新義州で多動養経歴に遠捕さに川]|| 六日午後九時五十分第二一つて蕭洲に高派びの途中、國境の 店就学校(こ)は六日朝前戦州から の本部の指示によつて態度を明られた大邱本町二丁目七二池二洪商 ろに郷若するぎで官数師側ではこ

在ほ大脳丸は前部を破壊して百間行方不明となり懸記線されてゐる 窓川郡北島西矢暦里福興難(こ)は 

學を緩利

二部教授の實施で

だいてか既然暴れ出し手嗣を切つ

らため三般になる<u>牡牛一頭を強西</u> Wan Dit 六日午前八時郷軍隊に納め

のなく町一時間に配つて市内をいる器域に恐れて離も東押へる

れ飼つた選を網を扱つて待ちぶ

【大邱】大邱府三笠町三三字周洪 | ばし、牛馬に食へば追ひ駆け

大邱の街を一時間

署

網を張つて押へる

# 御苔の濱腐れ受難

季節はづれの暖氣で凶作 全南の業者大弱り

興南の

として遺では近く水稻機断品間の 南原商工會

それと、男つた立場において取副

がは技術的角度から製造され、地質をなすものもいふべき行

世間を惹ろかせただけに指導者

る二十九日京城地方海路池判所 の日が辞たれてゐたところ座上 行中である、耐して削法或分の 能行用支統領事局に一代的以を

**叉化の光を浴びて** 

江原道は起ち上る

大資源の開發に拍車

江原道知事

自下大國標準の手罪で取調べ

の過上で、一陣の関東を喰らひ六一するが常日出航地主の登覧を参考の過上で、一陣の関東を喰らひ六一するが常日出航地主の登覧を参考 行政用総分を高然受けるものとみ いはゆるの思想是事性々は司法、一段職を懸行する工能名の生態を訟倒な水幣にした一として道では近く れ、「川海事出版所、「川客で

海事審判所で裁く

である一黒三白中の第一位の存苔 分にしかならないが、全層の誇り一る打合せを行つた

會の總會

【『原門】 寛子館《頭洞野花助氏は「後一時から経廊(動語)地で總備を開一加く現底機部で新光花度解音助に「後帯」 穀南鉱機(螺筒では八日午 | 住を遠尾中の奥南朝の長は強烈の一 【興南】庄司昌氏の群職と共に後 副邑長 長野氏に決定

(光明)時候はづれの野気で全層「含神器質の敗遠に顧問、相談役の一決定、同民は直もに正可氏と容見」移して各種企業の批判に伴び登得 の単一本部で開催の登録数域大類に陥す。現代する語 杠友亮氏 脚盤にでる型製剤型型の基準点を る、関に我が強固と一體不可分の しき費力を有するに至つたのであ

新醫博

原きを加へ秩序の整正、開起の企

初式は六日午前十時サイレンを合

なが、日歌師側では去る五日夜架 単に間に合ふやう交渉を急いてゐ ろに到着する管で宣敬証明ではこっての回答は難くとも来月中旬ご 第一切をそのま、引渡すべきか||三校の建物、簡単、重期場、校具||三校の建物、簡単、重期場、校具 崇實三校の引繼 宣教師側本國に態度を請訓 解決は二月中旬頃

三笠町と単に用賣つては単を競飛一出で大騎ぎを演じた 疾走し府内中央通りから東城町 |所有者に引渡したが一時は市内 珍らしく暖い冬

北 鲜 出 張 所新潟縣物產紹介所

肵

離 東

富

商

會

雄基

木曜

東京市産業局

朝鮮雄基出張所

産業部長會議に出席の上端件 中のところ十一、二兩日の成佐々木咸南内務部長の地域

シテマと演劇

| では、日本のは、日本のでは 日本のでは、日本のでは 日本のでは、

百廿回を職取逃走した大邱府東家 町掛写神梨相談所集命人與山町四

的指導を加へたる結果今や議場に さものがあり今後更に所定の

道の道祭が設上の如く所くも急 進まず世間から取録されてめた 期する影響である、山田重要交通 雄基酒造組合

同

大林正

義

雄基漁業組合長

大

吉

注 寫

國際運輸雄基支店

落長 有

安

輝

男

真館

江原道時代を現出することは型「春を迎へ心機を新にして百六十歳的功を以て明微せられ所部新興」が故に萬家新なる昭和十二年の新録の臨林能物及地下資源が路徹一下近下落下層の景景がる昭和十二年の新録の 握へない次節である、過去一年間 が茲に萬象新なる昭和士二年の前 に於ける多項多端なりし本道を 五つたことは國家の貫洵に同議に 雄基憲兵分遣隊 貝 員

同

班基公立曾通學校長

井

肇

野の農林産物及地下資源が路園 の庭には本道現地に於ける無価 の庭には本道現地に於ける無価 の庭には本道現地に除ける無価

とす。重要能散である所の腰山漁村の振っ大統に緩急質機減したいと所染を重し、大に原幹統古の抵敵とも称すべき、工夫破党を奪らして難災に関連百年のに、人に原幹統古の抵敵とも称すべき、工夫破党を奪らしていてある 寰岸本 Œ

缍

栃木商事雄基出張所

<sub>走</sub> 逸

見

鄉

藏

話一四四番

田端麗 誠 房

院站三二九番

勝

東洋炭業株式會社

咸

北雄基

**雄基警察署** 貝一 同 電 樂 **露話四大三番** 

**御料理** 大 10年松

問島輸出

穀物商組合

博多 屋旅館

旅館 Ē

旅 館

會合 社名 H 洋 行

東 拓 間 ā 支 店

成鏡北道立論,醫院

銀 行

モヒの 立賣り

失邱の二件集金持逃げ

街に鑑めく

て停止をもとめたがブレーキを | 下を想ひつ、共身は必死の下に投付き其内の一人は直ぐ廟里を楊 | 禄時記の延いからで選配の前に部第贈して二百米に近づいたのに | 恒砂と騰波してゐる過失の顧政は

くるに宝らずいよく、近く迫る

げ出したところの犠牲的行動は全

正顧念から職後の激災を其の低

|取り付いた腰間三〇米像も||して限へられついある

を脳されはなく今や地方の要談と

愈よ來る二十九日

一般の列削(川西一敷)は後方か ドカーと共に死に都なかつた事を五十米まで來た時秋谷縣八時七 | 夜煙に對して只管遺伝を能びハン 松打里北方二キロ半の地路の手、電似にもかかはらず機関の沿田助

四く半ば手押しながら漸く目的一位訂里の際道際に手書を受けたが

一大印】集金份節犯人速度二件 何れもご用

【任用】「川鸚蘭中館ではモヒ中」とし集つた四百八十箇の現金を持「児館の入駅観和の一架として二部「祝寒田廳」と貮組を開かる。 一会には著の一样 | ◆……龍岡卅日主家の郷金を奇像| 歐郎になつてゐる朝鮮人初華宴校|第三劉禄昭で河野宴野源長皇王 大田一全鮮學務談長會議の研究一數費の實施方に關し思用では左 忠南道恒重に協議

雄基測候所發表

の領象構化につき雄歩調饒所の打

舊臘下旬の氣象 

維基郵便局長

詰

素

男

露

器 德 興

Ш

村

祐

鮮

本並松友

安藤勝吉

推 基 支 店 链 **若狹材木店** 

代表取締役 別役米吉

汶山も撃行

梯子乗りの妙技 消防組の出初式開城六萬府民の護り

【概像】六萬府民の護り消跡組出|宴を扱つた(宮眞は梯子駆り)

雄基稅務

雄基漁業組合

雄基電氣株式會社

**聚北維語上本町** 須藤合名會社

雄巫元町 目加

田捨三

開 島

のでは、「一般に参加の外側数の影響に促さったる場でを辿り折算を要きてに動きている。」で、音楽の観異、側がの画的を一折、観角版画楽中心は代より必然を影響の画版、安一れて産業共派はその冒頭を販売し

光州】全南道では三十町歩以上

て、型震の無窮を奉祀し関連の職・我が頻繁と登に昭和十二年の新春を迎へ職み、光繁として

の發會式 全南興農會

で、原因から治療が悪い貧起るの

、 土木建築房、変型丸型酸電子ング、フェルト共他各種子ング、フェルト共他各種

何處の御家庭にも是非必要な!

の側面をやわらげるため一日の腰の側面をやわらげるため一日の脚の側面をやわらげるため一日の脚となった。

年新たなると共に

肺患者に警告

正しい療法

無料送呈されますから

、光明のあなた() 一部

原因から

即属を退治せよ

那忠能版の焼害 松木帰作師若 止しい焼焼の運行方法を軟へた。

恋愛の手が含しのべられてゐます

この「天光」は至つてのみよい一た段階である。

此頃の寒さに一層悪くなる

ご生満

の興意水。そこには飼者を数ふの興意水。そこには飼者を数ふの興意が、

り。この天光は翻映画窓銭や生気症古野星が現代人に変し興へ

山師がどんなホラを吹いても祭

てれをつけこんで無効の手や器械 の関うつけたり色々な版告で聞い

害を受たかの標に悲観して異や人は肺病ときくとまるで死形の

肺病は治る

※ 自然を忘れた科學成的者が、自然 ※ 自然を忘れた科學成的者が、自然 間方が治らぬなども言ふ人は、大 は 個安心下さい、離初に治ります

と、鑑かな日光と、汲めどもつきを止めて自然に避れ、漸渐な空氣 はないのです。病める人々よ、迷ふ おの表に示す法より肺患を治の途

(二級切手封入中越の方に詳報す)

明石市相生

**₹** 

明

極替世歷

○新姿の字括り時代は過ぎ大穀塑産の完全なキカイ製品が敷でも容易すく塑造出來。鑑賞な收入があるでも容易すく塑造出來。鑑賞な收入がある

御用命

見や翻译師が完全に関防できる。新日に見いてよくなり、新しい中 受作級資元 **奧村鐵工**大阪市市場九倍電道一丁 那

なでも、リキシンで血液の調りの気で、不治と諦めてる 中風は治る

原因を確め、

根本から治す

病毒 | 掃血液の大掃除療法

用して一日も早く全快されよ。 此の監探く直播として電量振動

吸収受配が非常に早いから、少し 配め本剤を服用して置けば、酒の 配め本剤を服用して置けば、酒の

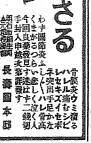
た選、今等音んでゐた壁霧者が、 リキシンは、先づ瞬間を丈夫に、 した。

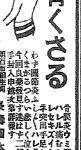


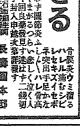












子なき奥猿

を要に先づ試用して効果を散めしてから賦用するのが一部安心でてから賦用するのが一部安心です。「この新聞名」を認し切手す。「この新聞名」を認し切手

1 さずせた燃掘に、夜も響られたい など 医療が出している。 というなが、 この病気の配因は膨液、 は、 一般の となりますと、 五年も今年も に 一般の となりますと、 五年も今年も に 一般の となりますと、 五年も今年も に 一般の に のが、 この海気の配因は に で から に れたり なり と で が は い から に なりますを と 元年も今年 に 一般の と で から に れたり なり と で が は い から に なりますと で な に かりま で から に な な の から で な に かりま で から に な い から に な な の から で な に かりま で から に な い から で な に かりま で から に な い から で な に かりま で から に な い から で な に かりま で から に な い から に から で な に かりま で から に から で な に かりま で から に から で な に かりま で から に か で から で な に かりま で が な に から で な に かりま で が な に から で な に かりま で が な に から で な に かりま で が な に から で な に かりま で な に かりま で な に かりま で な に から で な に かりま で な に な で で な に かりま で は かい から で は から で な に な で で な に かりま で は かい から で は から で は から で は から で な に かりま で は から で な に かりま で は から で な は から で は か

涌みを早く!

止める

ず神經痛自宅療法

の血中毒素を取つて治す漢方排毒素療法



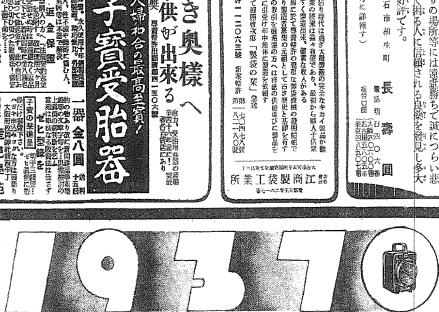
川園製 神 茶



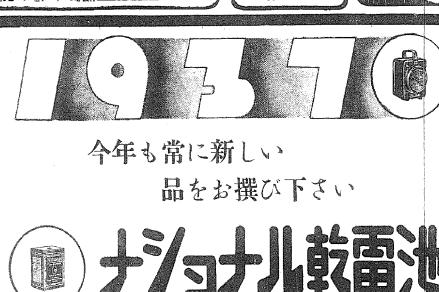
御用 は……茶業の手引書進呈は……却 定 仮 表 進 呈 は…宇治の老舗 ·船川園月報進呈







**專賣特許 | 二〇六三號 新案特許 第** | 七〇四七八號



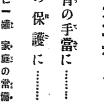




咳 刚。 喉 感情の手當に 家に一罐 老 0) 子: 保" 護 家 の に 庭 健』の Ø

感襲來期 常 友





流

またして、 それに 目的コンスポを通過する際も夜間も一切人の装置のお底で列車が

タブレット環壁機を装置すること 物列品の豊岡県全部に新統の自動。を収穫する急行、智道列型及び民 兄後、京義の国際路職全線と同様 **越上明年度20万で約三萬道を投じ** つたが、成脳極めて良好なので、

> 進局では五日から十日迄翌 内地配りの配省省に個へ翻 一一一一一一

# 吊時明朗少年團 純日本式に皇道精神を鼓吹

鎖衞・覈は日本魂を鼓吹し 學校教育と相俟つて 家庭とも連絡して非常を即て愈上磯廟に若手した、脇路は無くとも天晴れ大司男子の彩津を見せんものと、鎌の廟禰大いに と一致しない転があるので、邪暴な難嫌節跳曳、飛虎陰節歌で邪吹年の排除を輸験した結果、具能飛なつた、 今まで内地子の他各地にある効年散は寒闘のボーイスカクトに吹つたもので、久園糧解除兒童を打つて一丸 とする 明朗少年 國の結成 運動に乗り出すことに 時 少年團の社會教育に力を入れることになつた 「路が少年退に腕が恒期・縦を吹き込み、オイチ ニの掛け監験ましく大いに 最へ上げようと、内・一般が総帥原俗に寄り出して際村都市の中的舵に覆刺たる歌才を吹き込んだ本屋では、今座は他び これは京城ゴム製造業科が脱行の 向は新設簡所は未修定である 臘量に他唱をあげ昨年更能から苦 **伯島人の足であるゴム靴やゴム製** ゴム靴値上

日より質施

とちらは内房から街頭へ 

本府社曾教育課が産婆役

案内所主任會議 ジャベン・ツーリスト・ビューロ 学度製で、とは六日夜京城水橋町四 りずベン・ツーリスト・ビューロ 学度製で、とは六日夜京城水橋町四 の職貨局で鮮内案内所主任會議を 多報百廿東七十日夜京城水橋町四 の職貨局で鮮内案内市主任會議を 多報百廿東七十日夜京城水橋町四 の事に就て昭崩することになつた(用

る一日から質励した製品の一切二割庫上げを決定、去

案內所主任會議

超も既出し今のまゝでは金額にな

にたぐればたぐってほど複音を生く膨かされてゐるなど怪奇の糸

でみゃでが天で女給働きをしてる

る娘勢江さん(ご)の來城と共に同

境にたつて体業の登目に置った工

した本庭戦闘観覚師では庶襲の如|鮮鱸人師を結成。この頭をして内|獣野子べく目下観賞を進めてある|劈蝗婦人の生活蛇差遊跡に乗り出||河線線管を剪館ホテルに閉き第|対脳上華たに二ヶ所の融戦を併を く第一四座漢面を理解用他したが 個頭へ、婦人の教養向上、

先師に打つて出でんとこれが下華。動の第一般に乗り出すとにたつた。 鮮婦人類を結成し此類性原理動の。スローガンを高く掲げ此質数化型 その結果側距衝女性を樹雕して側「經路観念の是正、家政整備等々の

備を進めてゐたが、愈上九日夜第

怪奇を極めた現場の狀况

謎は深まる老婆殺し

新に支所を二ケ所増設

氣象觀測に力瘤 三觀測所を充實し

年度から京華全線に して引起き起及を行つてあるす位のボブラでその優優性から推 ぜぬ一點観で手古ずらせてゐる、 の脱靶が長さ五尺五寸は、直花三でも摂立陣では郷見された蛇器た に入つたが、支那人王は知らぬぼ

の東部京城を騒がすと共に、東部西西島の北部京城を騒がすと共に、東部

世に所内各祭に司法宗師に他事は

俗を切取してみる

も手物ではないかと、計法師の個

冰上大會延期

暖いので十七日まで 十三日には哲早大戦を行ふ

東大門署管内の住民

けは市法率に整備電話があるのみ れてふるにも揃いず、軍大門署だ には公衆難頗兩方の意語が設備さ

は十日から現行の割であつたが、一ケート部を迎へ、清潔里リンクで

施にフィギュアーのエキジビショ ホッケー及びスピードの財催競技

ることになるので、肺流も全くもスピードを落さず即を流過す ラブの重要な基調となるもので 共産匪と交戦 ではないかと無はれ、名刑事部 名で、内一名は日下状物で、そのはないかと無はれ、名刑事部 名の、政司は離往刑事の定員確か六、が、政策(四数字のオンドル間はル、法師確保を叫ぶに至った、メンの解償が設の中からでも数 とおふを助では支持つ某人門名の財職、四数字の対したがの報信が表現、四数字の対した。 京城の住民を持つまた。 京城の住民を持つまた。

【皇東電門】程刊令の率ゆる共直 通邊道で わが戦死一名 安治龍夫君は批判な戦死を挙げ

紹興の三瞬に上り特急であかつき**」** 問題生する瞬性の死傷事故を防止

開ルに新考案の自働タブレ

接受機を設置して賦録中であ

るため、西磯來水食画、安容、

通過酸でタプレット授受の

丁里の地野で該匪尉と衝突、交戦 の疑問に於て歌謡二十名を登し を追儺中の勝田大尉は松本大尉 姿なき花嫁

|の京城府吉野町||丁目四||李大圭||城しい生崎を送つてたゐが。 知人 吉林省城牛馬衛三七城原君は不幸 な男で迎へた細君を二匹とも失い 君が同情し、私の征妖を縁にやら これは罪な話

早強 結婚 させてくれ と思聊した から入城して書称に交渉、発味との慶を抱いてゐたが、遂に牛島猷 てまだ見ぬ率君の従妹の姿に憧憬

は、一年の登録者は五萬五千七百八十人に 「動き」というのでは、東京では、一年に内地人が五世年均、東部人が一四年 のでは、一年に内地人が五世年均、東部人が一四年 のでは、一年に内地人が五世年均、東部人が一四年 のでは、一年に内地人が五世年均、東部人が一四年 のでは、一年に内地人が五世年均、東部人が一四年 のでは、一年に内地人が五世年均、東部人が一四年 のでは、一年に内地人が五世年均、東部人が五世年均、東部人が五世年均、東部人が五世年 のでは、一年に内地人が五世年均、東部人が一四年

均勝罪したことになつてゐる

百萬人參拜

の多数に上つてゐる、この内臓は内地人が八

スに繋がれてゐる

飲武庭職界のナム郡るのがいま日本 **耐人事態のオフイ** は雅味往来の白

ってある彼はひどいぐっから屋だョン切つて、脂さんとの煙箱で通

る微笑に崩して

版一歩町の奴で いですね特に商 舌に乗せるとジ 一河豚は美味し

増土の名岐 画家を 門殿島神で掲がる 門殿島神で掲がる 器して蛇へ月に

と組み程度各版の安井、山名組

ピンと弾力性のあ、弾質大煙顔人頭では延迟の臓迹につたずらな輝い眉・世・髪をピン がつきすぎてある、一昨年の期帝ラケット製のお面相にガットを張 名は二十五の冠の常り酸には恰好

試合でも怖れず、慌てず、本物の まつ大説の敵は脳眼するし、

大阿越町守ならの山下保安

**牲は面倒臭いとあり顕の一字を示大卿に帯觀してゐる、下手に臭い大卿に帯觀してゐる、下手に臭い** 

教人事件の捜査に深くましい語「管内にもつ開墾としてはあまりに「八日午後」時卅五分泉域繁養ッの「されることとなつた、同は可能求」ンを行る習であるの刑事五名が中心となり怪奇。十七萬の人口と共に多数の怨節を 披露着前田友狂さん(元)の棚路は「見込立たず、来る十七月まで延期」縦にフイギュアトの刑事五名が中心となりを受った。 では如何に名称事からると言へ、 しまる多数の住民を持つ東大門」で、脱事率にはそれがなく、これ 「快き 八十七郎と尹へ」と言ふる数の住民を持つ東大門」で、脱事率にはそれがなく、これ 「快き 八十七郎と尹へ」 「大きの司法師は刑事の定員進立と、では如何に名称事からると言へ、 「快き 八十七郎と尹へ」 「株子東在管内に十七萬一千名」けば司法室に発倫正常かるるのみ

生士のやうにコート 一杯を獅子瓶(ほ) 頭のおやち安井哉一郎さんが昨年 は一つの消しさがある、それは既 けても要情一つ働きな丑?世間に選に荒し廻る、そして聞つても真 一つ出されので大門ふの観合のな と記載がいくのである、贈さんに 和粉省和粉局提になって東京に去 とおびたとしい、だが試合がエ

ープ離さんはほろ苦く笑ふのであと 捨てるやうに 魅り ながら、ホ 安井さんの風貌をポッン・ポッン

> 【珍名野典】大分縣に正日 多分十六日生れならん

けふの天気

育を順

厳寒の置境に肉弾の安全防量を乗一進が散想されますのでなるべく早 く人たちへ温い支援を避らう 仮邊はま子嬢 早くおいで下さ

高の館のは人家の総員に迎へられ プログラム 電影に寄げる京日、信申時間を止職 増フィル・ハーキューの人とう 定に寄げる京日、信申時間を止職 増フィル・ハーキューの人とう での肌の差裂から脱資金を財助 末常間における延続は主子郷と京 目にお出かけ下さい(鳥頭は本出

て今間七時から京城府民館に開か

はこの獨唱館に出版する京城フィー 城湖鮮ホテルに投資したが、同役れる、渡邊郷はきのふ大連から入

打合せをなした、なほけふは大説 【 C 】オーケストラ間奏(京城フー・ジャス・オーケストラと離本 リルト銀い竃トロザリータ

永保ビル増築竣工 **年育除ノ時日ヲ盟シ増築中** 

瀬ヲ伽へ近日中ニ酸工塩事ト 爾納申込開始

永保合名會社 京城附細監二丁日八二ノ 龍光 二天〇

でしめやかに行はれた、鱧り果て日午後四時から張辉内里の火糖型 庭々器質様軍ナル現代的智能 ナリシ五阶型水保ビルハ

古男一ユースの説明アナウンスは原際問情にも上限するととになりました、本ニ

京城日報世界館署ニュース新署第二報は八日飛行使で

けふから京城明治座封砌 今夕の獨唱會にも上映

一報來る

本日より京城明治圏に封切上映、

◆昭和十二年元旦 ◆昭和十二年元旦 前報より松井翠聲氏が擔當す

 西貫井薬師【□】成田不動尊【ハ】川尚大師 皇妹五格姫の御結婚

建坪百瓜拾中部台部勺

**淡雨口部次** 

京了

山道水

網路署を訪れて私 題といふ中年男が

☆……八日の研革

天中軒

霊

の文盲につけこんで勝手な契約 の蝦を依頼したところ、文は年 三年前に州圏の養育費で四つ

女……實鑑可一一

話を聞いて見ると

さいと泣き込んだ の娘を取返して下

御用の方は電茄光化門 - 七〇五へ四半温実開節協選住 

**海々木** 

米

#

話 舞り物あり 

事 解 夜具 四十八本 一枚で當る大景品 盘 サイイチク 一台 ボータブル 一台 一世 ポータブル 一台 一世 十数別

【D】 顕唱版田章船、ひとりしづか、お菓子の家 か、お菓子の家 1ケストラ ◆第二部【A】荒城の月、魅け優しき鉱産よ

和十二年三月十 一年三月十 一年三月十

(日光電話)都十二回金園県年末 上瀬子郷大宮スピード現夜最終 は一萬メートル、二千メート ルリレー線レースを入口午前八 年から開始、成縁在の加く結節 明大が優勝した

ゼルハーモニー) 「B」オーケストラ同奏(京城フ

◆第三部【4】 オーケストラ(京 4 海明アリラン皮曲、鳴らぬ 【役點】 早10 明 8 優々 (一年来リレイ(二枚、 京 3 南南和北央 (早) 一九分三八沙 本 1 本雑徳 (早) 一九分三七沙ド 2 張南龍 (明) 一九分三七沙ド 2 張南龍 (明) 一九分三七沙ド が開発を 

特

農 룤

詰

一起寺地八百四拾四坪一起寺地八百四拾四坪 真洞町五澤地ノ六百五拾九坪六百五拾九坪

宮井町豊富地ノ七合

京城府明治町一丁月及麓田

(国は選集)

臥龍町武帯地ノ中四勺六才

一一一切が京都道京城府旅井町宣音地ノ野野京都道京地である。 朝鮮式木造瓦齊平家雄大造經費 い川町山帯地ノ 五參可 間間間

浪曲レコードなら断点デイチク!! オ ラ リ と 並 ん だ 金 碧 板 !! 

豆塊一朝鮮式木道瓦哥平家建宗樹正版

明能式木造瓦西平家建水學般亞

鮮京畿道京地府閣井町宣省地ノ建坪成百八拾八坪五合五勺

松





項目の問題要項中一節髪の際は消しあり、そのピラに置かれてある十 は皮肉にも所願原大門名から配 防犯官隊ピラが振いれて

各家庭と防犯の注意

かが

だして部内を暗く野外を明る

る理しの一項目が實行されず被別

あつたり、被害者が全力をもつはれたものが、窓外にも能権の

観光者が総費された初年の歴 | 青は青電燈の下に提覧されてる 

門署へ参考人として出頭すること。そつた、同類でさんば九日短頭大 要求の報じさんの要は一人限を子 一般の姿にワッと強きくづればれ 9階段された体の冥間を衝を引

朝鮮式木岩瓦齊平家建中和殿壁 · 野京龍道京城府貞洞町五番地/ 建坪八拾七坪七合参勺 明時式木造工五日末衛属學思想

アイチ 春野

春野百 古田奈 Шź e 更 丸 Ţ

幸 枝

嬚

れたし営方家族一女中可成係業なき人を腹内地人非難四五十段

富ティテ 廣ライ 士品

澤麗 虎 

FJ 

木村っ 友

月